

新年のごあいさつ



清須市長

永田純夫

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから、間もなく2年が経過しようとしています。昨年は、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種が進む中、日常生活の回復に向けた新たな取組も示され始めました。そのような中で、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動や興奮がもたらされました。また、リモートワークやWeb会議等の浸透、テイクアウトや宅配・デリバリーの広がりなど、市民の皆様様の生活様式が大きく変化した年となりました。

一方、オミクロン株の出現などにより、新型コロナウイルス感染症が急速に収束に向かうことは考えにくいいため、ワクチンの3回目接種の準備を進めているところでございま

すが、市民の皆様には、今後とも気を緩めることなく、「3つの密」を避け、手洗い、うがい、マスクの着用など基本的な感染症対策に努めていただきますようお願い申し上げます。さて、コロナ対策と同時に、本市を更に成長・発展させるため、アフターコロナの時代を見据えて、次を生み出すための施策も行っていかなければなりません。

安全で安心に暮らせるまちづくりでは、五条川右岸に指定避難所及び防災資機材等備蓄施設としての機能を有する防災センターを整備するための設計業務に着手しております。また、指定避難所を兼ねる市内全小中学校の体育館に、より良い環境が確保できるよう空調設備を整備するための設計業務を行い、令和4年度中に工事完了ができるよう進めてまいります。

令和2年、本市は出生率で県内1位に返り咲きました。引き続き、住環境を整備しつつ、子育てしやすいまちづくりを目指し、令和4年4月の開園に向けて、市内に民間小規模保育事業者を誘致するなど、引き続き待機児童ゼロを維持してまいります。

高齢者福祉につきましては、地域包括ケアシステムの中核を担う機関の充実を図り、高齢者やその家族の身近な存在として寄り添った支援ができるよう、地域包括支援センターを1箇所増設し、その機能を強化してまいります。

また、便利で快適に暮らせるまちづくりを目指して、名鉄名古屋本線新清洲駅付近鉄道高架事業や、現在4箇所で行われております区画整理事業につきましても、早期の完了を目指してまいります。

本市の財政状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入の落ち込みが見込まれます。また、高齢化の進展等による社会保障関係費の自然増が見込まれることに加え、大規模な施策事業の推進や、公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進など様々な行政課題にも対応していく必要があります。今後、厳しい財政運営が予想されます。

限られた財源を真に必要な分野に重点的かつ効率的に配分することを基本に、コロナ禍にあっても未来への投資を着実に進めることで、持続可能な社会を構築し、市民生活をより豊かにするとともに、将来にわたって活力の溢れるまち、「力強い清須」を実現すべく全力を尽くしてまいりますので、引き続き市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年となりますよう、また、心身ともに健康でお過ごしいただきますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



清須市議会議長
八木勝之

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和4年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、市議会活動並びに市政運営に對しまして、温かいご理解と絶大なご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新年にあたり、市議会を代表いたしました「ごあいさつ」を申し上げます。

新たな年を迎えるにあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願い、第2次総合計画の基本理念であります、「安心」・「快適」・「魅力」・「連携」を基に、本市の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で元氣な都市」の実現を目指し引き続き邁進する覚悟でございます。

市議会といたしましては、これまで同様、市民の皆様方の声に耳を傾け連携を一層密にし、市と一体となって進めるべきものについては、議員一丸となり市と協力して積極

的に進めるとともに、時には厳しい意見も申し上げ、議論を尽くし、監視役としての役割も果たしてまいる所存でございます。

昨年、一昨年から流行してあります新型コロナウイルス感染症により、国内はもとより世界各国において感染者が増加し、日常生活、経済活動などあらゆる分野に影響をもたらしました。度重なる非常事態宣言により、日常生活等において様々な制限も必要となっております。ワクチン接種の効果もあり、昨秋以降では一先ず流行に陰りが見えていますが、第6波は必ず来るともいわれており、国・県とも連携を取りながら市も情報の提供、感染予防等の呼びかけを行ってまいります。引き続き、感染予防とともに感染拡大防止への取組をお願い申し上げます。

また、昨年も日本各地で集中豪雨が発生し、大雨により川の氾濫など大規模な浸水や土砂災害が発生しました。そして、頻繁に大きな揺れの地震も発生しています。幸い本市には大きな被害などはございませんでしたが、ゲリラ豪雨と称される集中豪雨や近い将来発生が予想されており、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。

市としましては、清洲庁舎跡地に避難場所と防災資機材等備蓄施設の機能を持つ

「(仮)五条川防災センター」の整備に加え、避難所となる小中学校体育館に新たに空調設備が整備されますので、避難対策の強化に期待しております。

市議会といたしましては、限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、議員一人ひとりの責務を全うし、議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

私たち議員は、複雑・多様化する行政需要を正確に把握するとともに、議会の情報を正確にお伝えし、議会の公開性・透明性を高め、開かれた議会を目指してまいります。

結びに、本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新春を迎えて

愛知県知事 大村秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、オール愛知で一丸となって、新型コロナウイルス感染症の「克服」に向けた取組を進めるとともに、ジブリパークの整備推進、愛知県新体育館、スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展など、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードしていくためには、変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも取り組んでまいります。

今年7月には、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋には、ジブリパークの「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」が開業します。愛知の魅力を高める取組も着実に進めてまいります。

愛知県は今年、1872(明治5)年の誕生から150周年を迎えます。県民の皆様に、将来も愛知県に住み続けたいと思っただけけるよう、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

西枇杷島警察署長 加藤久幸



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から、地域の安心・安全にご尽力いただき、また、西枇杷島警察署に対しご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、日本中が沸く一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により生活様式が大きく変化した一年でした。

当署においては、活動の目標を「二市一町の安心・安全」を目標に掲げ、署員一丸となって犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止などに取り組み、一定の成果を挙げることができました。これも、地域の皆様や、各自治体や関係機関・団体の皆様からの力強いご支援、ご協力をいただいたおかげと深く感謝申し上げます。

本年も引き続き、「二市一町の安心・安全」を当署の目標に掲げ、社会情勢や治安情勢に的確に対応した取り組みを積極的に推進してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。